

平成 28 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 田 口 三 昭
(コード番号 7832 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 経営企画本部長 浅 古 有 寿
(T E L : 0 3 - 6 6 3 4 - 8 8 0 0)

通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 11 月 8 日開催の取締役会において、平成 28 年 5 月 11 日に開示しました平成 29 年 3 月期通期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	580,000	50,000	51,000	35,000	159.32
今回修正予想(B)	<u>590,000</u>	<u>57,000</u>	<u>57,000</u>	<u>39,000</u>	<u>177.53</u>
増減額 (B-A)	10,000	7,000	6,000	4,000	—
増減率 (%)	1.7	14.0	11.8	11.4	—
(ご参考)前期実績 平成28年3月期	575,504	49,641	50,774	34,583	157.43

2. 修正の理由

平成29年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、全ての事業で年初に掲げた利益計画を上回る実績となりました。玩具ホビー事業が概ね計画通りに順調に推移したほか、利益率の高い商品・サービスが人気となったネットワークエンターテインメント事業、映像音楽プロデュース事業が計画を上回る実績となりました。

事業面では、ネットワークエンターテインメント事業の家庭用ゲームソフトにおいては、欧米地域において新作タイトル「DARK SOULS (ダークソウル) III」の販売が好調に推移しました。ゲームアプリケーション、PC オンラインゲームなどのネットワークコンテンツにおいては、「アイドルマスター シンデレラガールズ スターライトステージ」などの国内の既存主力タイトルが安定した人気となったことに加え、アジア地域をはじめ海外で展開している「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」などのタイトルが人気となりました。映像音楽プロデュース事業においては、「ガールズ&パンツァー」シリーズが劇場版を中心に人気となり、映像・音楽パッケージソフトや関連商品の販売が好

調に推移しました。また、映像コンテンツと音楽コンテンツやライブイベントの連動展開を行っているIP「ラブライブ！」シリーズの人気が続きました。このほか、「機動戦士ガンダム」シリーズの映像パッケージソフトが好調に推移しました。

以上のような第2四半期連結累計期間の実績ならびに各事業の直近の事業動向を踏まえ、通期の業績予想数値が、平成28年5月11日に公表しました予想数値を上回る見込みとなりましたので、表のとおり修正いたします。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上